

# 2025年4-6月期の小売売上高は9.0%増

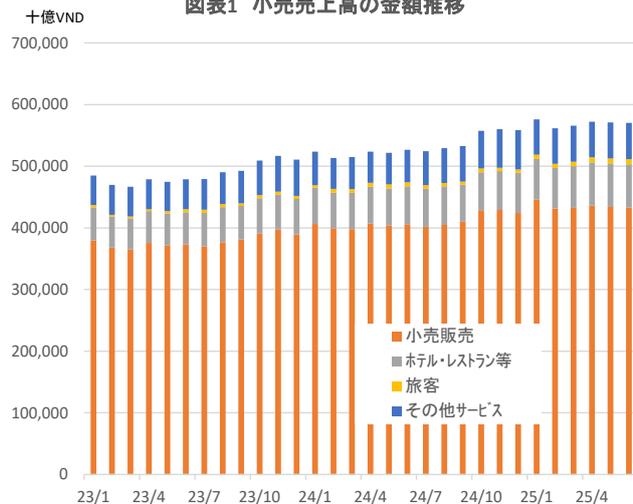


## 《2025年4-6月期の小売売上高は前年同期比9.0%増》

ベトナムの2025年4-6月期の小売売上高（推定値）は前年同期比9.0%増の1,713兆VND（ベトナムドン）だった。8四半期連続で前四半期を上回り、四半期ベースの過去最高水準を更新した。内訳をみると、小売販売は同7.1%増の1,303兆VNDとなり、1-3月期の同8.8%増からやや減速した。6月単月では同6.7%増となっており、これは2024年1月以降で最も低い増減率である。足元の生産活動は活発であり、賃金や雇用の見通しを悲観する要素は少ないことから、米国の関税政策の不透明感が一時的に消費者心理に影響した可能性がある。ホテル・レストラン等が同16.1%増の210兆VNDで、1-3月期の同13.4%増から加速した。1-6月累計のベトナムを訪れる外国人旅客数が増加し、前年同期に比べて2割程度増加しており、ホテルやレストランの需要拡大に貢献したとみられる。旅客は同29.0%増の24兆VNDで、こちらもベトナムを訪れる外国人旅客数の回復が牽引役となっているようだ。その他サービスは同13.5%増の175兆VNDだった。

生産年齢人口の増加に加え、生産や投資の増加が、雇用や所得環境の改善を牽引し、物価上昇を上回る所得の増加が小売売上高を拡大させるという好循環については、他の各種経済統計をみる限り変動があるとはいえないので、過度に小売販売の減速を警戒する必要はないだろう。しかし、米国の高水準の関税導入はベトナム経済の拡大に大きく貢献してきた自由貿易体制の後退に繋がり、ベトナムがこれまでと同様の経済成長モデル、或いは日本や韓国のような成長パターンを継続できないリスクが高まっている。ベトナムに対する関税率は当初の46%から20%へ引き下げられたが、世界経済の減速やグローバルサプライチェーンの混乱などが、今後のベトナム経済に影響をもたらすリスクには警戒が必要だろう。その一方、ベトナム政府は積極的に内需拡大に向けた諸策を講じており、この進捗が世界最高水準のGDP成長率の維持に貢献することが期待できる。ベトナム経済の構造改革の進捗を慎重に見守る必要があるだろう。

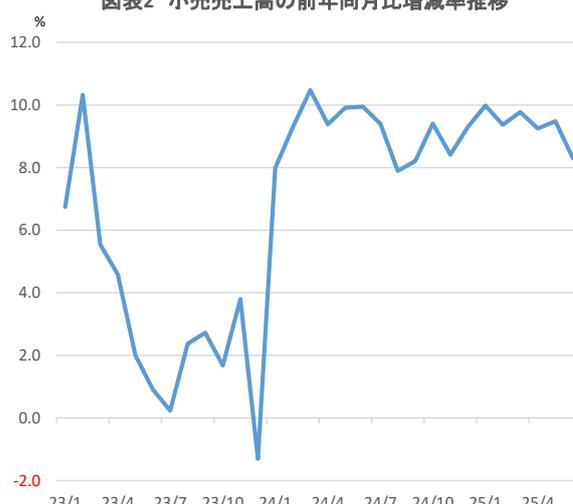
図表1 小売売上高の金額推移



注 2025年6月は推定値を用いている。その他は確定値。

出所 ベトナム統計総局のデータをもとに当社作成

図表2 小売売上高の前年同月比増減率推移



注 推定値ベース

出所 ベトナム統計総局のデータをもとに当社作成

### ニューズ証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250714

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。